



↑全国子ども会から表彰された大迫さん

★ 大 子ども会育成会活動に功績 迫さんが全国表彰に輝く

犬鹿倉の大迫政喜さんが2月19日、長崎県で開催された全国子ども会育成中央会議・研究大会で全国子ども会から表彰されました。

大迫さんは、長島町子ども会育成連絡協議会長を平成5年から15年、出水地区子ども会育成連絡協議会長、鹿児島県子ども会育成連絡協議会理事を平成14年から現在まで歴任され、子ども会の発展に尽力されています。

このたび、その長年の功績が認められ全国表彰となりました。夫人の由紀子さんにも、長年にわたり子ども会活動を理解し、子ども会活動に尽力する夫を支えてくれたとして感謝状が贈呈されました。

表彰状を手にした大迫さんは「皆様のご協力のおかげです。今後も微力ながらお手伝いしていきたいです」と喜びを語っていました。

↓カラフルな衣装に包まれ、元気に踊る園児たち



★ 指江保育園が老人ホームを慰問 かわい遊戯に笑顔広がる

指江保育園の園児が3月10日、特別養護老人ホームあかね園と養護老人ホーム長生園のおじいちゃん、おばあちゃんを慰問しました。

長生園では、4歳児17人、5歳児11人の計28人がグループに分かれて「いさみ太鼓でひとおどり」や「燃えろ炎の三四郎」などのお遊戯を披露。おじいちゃん、おばあちゃんは音楽にあわせて手拍子を送り、会場にはたくさんの笑顔が広がりました。かわいい園児の衣装や元気な姿を見たおじいちゃん、おばあちゃんは、楽しい一日となったようです。

★ 大 NPO法人HOW to 21 Club 島桜20本を寄贈

3月5日、出水市に拠点を置くNPO法人HOW to 21 Clubから本町へ桜の苗が寄贈されました。

同法人は、主にエコや景観形成の活動を展開していて、その一環で町内の天ぷら油を回収して再利用しています。今回はその活動への協力に対するお礼と、本町が取り組む「ぐるっとフラワーロード事業」に共感されて苗を寄贈されたものです。

同日は、同法人の吉井秀之主宰から川添町長にオオシマザクラ20本が贈られ、黒之瀬戸大橋公園内のうずしおパークに植栽されました。



↑吉井主宰（中央）と町長が桜を植栽